

## 第6章 活用計画

### 6.1 公開その他活用の基本方針

#### (1) 建造物の価値と魅力の公開

三河家住宅は昭和初期に建てられた鉄筋コンクリート造の住宅建築であり、当時の外観、建築工法や建築意匠を現在に伝える。その技術史的価値、意匠的価値、芸術的価値を理解し、文化財建造物の魅力を伝えるため広く一般公開するとともに、三河家住宅の室内意匠や時代性に調和した家具等を配置し、当時の住宅内部を再現することで徳島における昭和初期の知識流階級の家族の生活史に触れ、実感できる場として活用する。

#### (2) 建造物の特性を生かした活用

三河家住宅は建築主三河義行と設計土木内豊次郎の個性と芸術性ある創造的な精神により具現化され、建築意匠の細部にこだわりや嗜好が表現されている。このような三河家住宅の特性や先人達の創造的な精神を学び活かし、世代・立場を超えて文化財に足を運ぶきっかけづくりや文化財に親しむ機会を創りだし、新たな価値やおもしろさを創り出す場として活用する。

#### (3) 地域のまちづくりとの連携

三河家住宅は戦前の徳島の風景を現在に残し、都市の記憶を次世代に引き継ぐ都市形成史上、価値のある文化財建造物であり、戦災復興事業によるまちづくり資産の再生・活用と相互に関わり合う中で都市の歴史と文化を特徴付ける。このような文化財建造物を多くの市民に永く親しまれる手法として、まちづくりや地域のにぎわいの創出との連携も視野に入れ、文化財建造物の新たな役割や価値を見いだす取り組みをめざす。